

買物ゾーンの目的と内容等

1. 「JICA 中部なごや地球ひろば」設立の背景と目的

(1) 背景

独立行政法人国際協力機構（以下、「JICA」）は、国際協力や開発途上国に対する国内での理解や関心を深め、「国際協力を日本の文化に」すること、開発途上国への支援に携わる現在と将来の人材を育成していくことを目的として、市民参加協力事業を実施している。このうち、特に市民の国際協力に対する理解を深め、JICA 事業を含む国際協力への参加を促進することを目的とし、2009 年 6 月 1 日、JICA 中部センター（以下、「JICA 中部」）に、中部地域（愛知県、岐阜県、三重県、静岡県）の国際協力の拠点として、「なごや地球ひろば」をオープンした。

(2) 目的

中部地域における「国際協力の活動拠点」として以下の 2 つを目的として運営する。

- ア. 市民が気軽に訪れ、国際協力に対する理解を深め、参加するきっかけを見つけた場
- イ. 地域の知見を活かした国際協力活動を発信し、相互交流を深め研修を実施できる場

2. 「なごや地球ひろば」の概要

「なごや地球ひろば」は、体験ゾーン（体験型展示スペース）、活動ゾーン（セミナールーム）、食のゾーン（レストラン）、買物ゾーン（フェアトレードショップ）、情報コーナー、パネルコーナーの 6 つから成る複合施設である。なごや地球ひろばは、これらの施設を利用して、開発途上国の現状や地球規模の課題、JICA が有する国際協力における経験や知見を素材とした情報を市民に提供すること、また、NGO/NPO・その他団体の国際協力の活動・成果を発表・発信する場として利用してもらい、市民の国際協力への理解を深め、ボランティア活動や国際協力への参加機会を提供することを目的としている。

3. 「買物ゾーン」の位置付けと概要

なごや地球ひろば 1 階カフェ クロスロードに隣接するスペースを「買物ゾーン」とし、「買物を通じた国際協力の場」として位置づける。当該ゾーンでは、フェアトレードの商品、JICA 事業を通じて商品化された物品等を販売するショップを運営する。ショップでは、①JICA 事業の啓発の場としての機能、②開発教育の場としての機能、③他ゾーン、地域の NGO/NPO と連携したイベント機能を果たす。具体的には、以下の要素を満たすことが望ましい。

(1) JICA 事業の啓発の場

JICA の支援によって作られた製品の紹介を通じ、JICA 事業の紹介を行う。当該商品を販売する場合は、その利益は現地に還元することで事業支援を行うことが望ましい。

(2) 開発教育・SDGs 理解促進の場

フェアトレード製品の紹介と販売を通じ、途上国の現状や課題（児童労働、

貧困等を知る機会、国際協力への参画の場を提供する。

(3) 地域の NGO/NPO と連携したイベント

なごや地球ひろばの展示・イベント等を考慮し、JICA 関係者（JICA 海外協力隊 OB/OG を含む）、国際協力関心者、地域の NGO/NPO、自治体等の団体と協働のイベント・セミナー等を検討する。

なお、イベントは、JICA 中部と運営団体が協議の上、企画・運営の内容を決定する。

(4) 他ゾーンと連携したイベント

なごや地球ひろば内の展示企画、レストラン等のイベント企画に連動した買物ゾーンのディスプレイやイベントを実施する。